

筑波大学

東西言語文化の類型論特別プロジェクト
研究報告書

平成11年度

Ⅲ

Report of the Special Research Project
for the Typological Investigation of
Languages and Cultures
of the East and West

1999

(PART Ⅱ)

筑波大学東西言語文化の類型論
特別プロジェクト研究組織

正誤表

	誤		正
p.757, 脚注 3	Note: Faraci...	→	Faraci...
p.761, 脚注 7, 2 行目	We mean by it that...	→	We do not mean by it that...

寄	贈
既波大学東西言語文化の 類型論特別プロジェクト 研究組織	平成 年 月 日

804
7566
3-2
HO

目次

PART I

はしがき		i
研究組織		v
研究経過		vii
第1部 日本語をめぐる		
日本語研究グループ活動報告	砂川有里子／アンドレイ・ベケシュ	
	杉本 武／小野正樹／矢澤真人／沼田善子	1
シンポジウム『日本語のとりたて』 — 「ばかり」と「こそ」の地理的変異・歴史的变化を中心に —	沼田善子／森野 崇／上野智子／友定賢治 宮地朝子／野田尚史／小林 隆	9
An Attract-F based approach to <i>wh</i> -in-situ	Masao Ochi	53
Locational Verb Alternation as Evidence for Overt Object Shift in Japanese	Hideki Kishimoto	65
Weak Parallelism and Modularity: Evidence from Japanese	Junko Ito／Armin Mester	89
Lexical Classes in Japanese: a Reply to Rice	Junko Ito／Armin Mester／Jaye Padgett	107
終助詞「ね」の、自然下降型イントネーション	橋本 修	117
埋め込み節をとる動詞について	小野正樹	129
日本語における降格主語の関係節化	田中裕司	139
日本語から見た日本人 — 日本人は「集団主義的」か —	長谷川葉子／廣瀬幸生	153
第2部 データベースと計算機処理		
印欧語根を用いたハイパー英単語辞書	池辺八洲彦／蔡 東生／大出 真	175
Composing vectorial representation for noun phrase using neural networks	TAKAHASHI Naoto	187
国語辞書を用いた意味ネットワークの自己組織化に関する基礎検討	平井有三	201
常体から敬体への言い換えシステム	横山晶一	213
多言語音声コーパスの設計と構築	西尾晋太郎／山本幹雄／板橋秀一	217
実音声サンプル低依存型の音声認識方式	田中和世	225
Suffix Array ツールキット — 電子化コーパスを用いた各種統計量の計算 —	山本幹雄	231
文書構造変換規則と記述内容処理関数を用いた構造化文書操作系	北川博之／品川徳秀／石川佳治	237
第3部 認知言語学的研究		
‘Bounded’ vs. ‘Unbounded’ と ‘Cross-category Harmony’	池上嘉彦	259
事態概念と構文の拡張 — 日英語の文法構文を例に —	谷口一美	319
分詞構文のネットワークと拡張	早瀬尚子	337
第4部 Determiners and Quantification		
A Head Movement Analysis of the Split QP Construction	Daiko Takahashi	361
Determiners and Nouns	Keiko Muromatsu	377
No ‘No’: On the Crosslinguistic Absence of a Determiner ‘No’	Uli Sauerland	415

PART II

第5部 会話分析

発話構造の日英比較	田中博子	445
教室談話における参加の諸相：相互行為的分析の試み	茂呂雄二	469

第6部 東洋の言語と文化

福州語文法概要 — 中国南方方言記述文法の作成に向けて —	林 璋／佐々木勲人	499
近代日本と中国における翻訳文化についての比較研究		
— 中村正直と嚴復を例に —	王 克非／林 璋	583
中国における『華夷訳語』の研究状況 — 1979年以降を中心に —	蔣 垂東	605
《型世言》における北方方言と創作		
— 明末白話の“咱”“这咱”“己 (= 给)”“怪 (副詞)”など —	伊原大策	623
韓国語接辞使役の構造	鷺尾龍一	637
韓・日両言語の格助詞省略に関する対照研究	洪 思満	655
「ある/いる」と「iss-ta (있다)」 — 日韓対照の観点から —	安 平鎬	681
ベトナム語のムード詞の意味的な特徴 (その2)		
— “còn” の用法を中心に —	村上雄太郎 (レー・バン・クー)	699

第7部 西洋の言語と文化

Preverbal Object in Early Child English	Masatoshi Koizumi	709
Deletion and Binding: A Study of Genitive Pronoun Reconstruction and its Theoretical Implications	Satoshi Oku	717
Licensing Some Kinds of Degree Adverbs in English	Hidekazu Suzuki／Mitsuo Yamagishi	735
The IOT Construction with the Main Clause Containing a Stative Predicate: a Reexamination	Hiroimi Onozuka	755
ドイツ語における限定詞を伴わない mit-付加詞の特性	岡本順治	767
無生物間接目的語について	加賀信広	779
To BE, or not to BE: is that a syntactic question? — 蘭・独・仏・伊における 助動詞選択の比較研究 —	中本武志／大矢俊明	789
分離・非分離動詞の項構造	黒田 享	819
動詞と結果表現の意味関係	草山 学／宮田明子	841
テキストはいかにはじまるか	安井 泉	869
Символы и образы в русском языке — сова, филин —	カノ ヒロコ	881

第8部 東西言語文化の比較対照研究

命名における直喩と隠喩 — 動物, 道具, そして河川の名称 —	川口順二	901
日独慣用句比較研究 — 比喩性と具象性の関係 —	伊藤 眞	915
条件文のタイプを示唆する言語形式	吉田和史	937
言語における二・三の問題 (その二)	原口庄輔	947